



庄原市医師会長
毛利昭生

便潜血検査の ススめ

大腸がんが増えています

日本では、これまでがんになる人中でも多かったのは胃がんです。しかし、生活習慣の欧米化に伴いその率は減少傾向を示す一方、大腸がんにかかる人が増えています。

厚生労働省の人口動態統計によると、平成17年度に大腸がんで亡くなった方の数は、男性では、肺がん、胃がん、肝臓がんに次ぐ第4位。女性ではすでに第1位となっています。

すぐ内視鏡検査を受けるのではなく専門医で受診を

大腸内視鏡検査は、新しい前処理薬の開発と挿入技術の向上により、大腸のスクリーニング（症状が現れてくる前にがんを発見する）検査として普及しています。X線造影検査では見つけにくい平坦型早期大腸がん（ポリープ以外のもの）がたたくさん見つかり、内視鏡で治療できるようになっています。

こうした内視鏡検査による早期発見・早期治療は大腸がん撲滅に重要ですが、大腸は長くて屈曲が多いため、検査時に苦痛を伴うこともあるので、まずは専門医での受診をお勧めします。

便潜血検査を受けましょう

大腸がん検診は、費用対効果・精度・安全性などを考慮して、初めから内視鏡検査をするのではなく、平成4年から40歳以上のすべての国民を対象にした「免疫学的便潜血検査2日法」が用いられています。

この検査法は、任意型健診や人間ドック、職域健診で行われてはいるものの、全体の検診受診率は20%と低いままに推移しています。

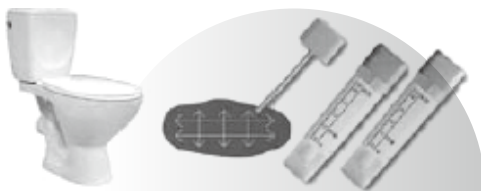
大腸がんから自分を守るためにも、ぜひ便潜血検査を受けましょう。

●日本のがん罹患率（平成17年度）

男性	1位 肺がん	女性	1位 大腸がん
	2位 胃がん		2位 胃がん
	3位 肝臓がん		3位 肺がん
	4位 大腸がん		

●平成23年度がん検診受診率

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
広島県	10.3%	16.1%	17.6%	29.1%	24.0%
庄原市	18.5%	22.7%	23.0%	27.1%	20.7%



大腸がん検診方法

2日間便を採取します。便の表面をまんべんなくこすり、容器に戻し、検診機関に提出します。自宅で簡単にできます。

**広島県民よ！
まだ受けておらぬのか。
「がん検診」**

広島県がん検診啓発特使に就任されたデーモン閣下。広島県民にがん検診の受診を呼びかけています。

